

「ふれあいの里山」復活大作



日時	2023年 2月 4日(土) 10時00分～ 12時15分		
場所	金ヶ崎公園	天候	晴れ時々曇り
参加者	エコウイング会員 5名、事務局 1名、 計6名		

● 活動内容

昨年12月と今年1月の活動が中止となったため、今日は3ヶ月ぶりの金ヶ崎公園の活動でした。この日は立春で、暦の上では春が来たことになりましたが、まだまだ冬の時期で昆虫が姿を見せることが期待できないため、いつもの自然観察は実施ませんでした。

代わりに、公園内の遊歩道を一巡りして、これからの里山整備をどのように進めるか、活動ポイントを検討したり、歩行の障害となるような枯木の倒木や落下した枯れ枝を取り除くなどをして、参加者の集合写真を撮った後12時過ぎに会議室に戻り、午前だけで活動を終了しました。

※今後の活動ポイントとして、以下の項目が見つかりました。

*公園入口の竹林の間伐と雑木除伐

*遊歩道階段の更新

*公園内各所で増えすぎている「カクレミノ」など常緑樹の除伐

- 次回の活動は、3月4日(土)の予定です。春の気配も色々が見つかる時期と思います。たくさんの皆様のご参加をお待ちいたします。

活動開始前のミーティング



遊歩道の点検整備-1



遊歩道の点検整備-2



参加者集合写真



今日の金ヶ崎公園の自然観察日記

今日の金ヶ崎公園は、気温が低いこともあり昆虫はまったく姿を見せませんでした。代わりに色々な野鳥が観察できました。冬鳥では青色が美しいルリビタキ、ジョウビタキに珍鳥のニシオジロビタキが愛らしい姿を見せました。特にニシオジロビタキは金ヶ崎公園に初めて飛来してきて、昨年の11月ごろからずっと留まっています。

そのほかに、ハゼノキの実を食べるメジロや、まだ残っているカキの実をついばむヒヨドリ、茂みの中を移動するウグイス、集団で飛び回るエナガ、ふもとの北浦池を泳ぐカイツブリ、上空を飛ぶハイタカも観察できました。

ルリビタキ



ジョウビタキ



愛らしい珍鳥ニシオジロビタキ



ハゼノキの実を食べるメジロ



カキの実をついばむヒヨドリ



ウグイス



エナガ



北浦池を泳ぐカイツブリ



上空を飛ぶハイタカ

